

火災



総務省消防庁によると令和3年の総出火件数は35,222件でした。これは、おおよそ1日あたり96件の火災が発生したことになります。

消防本部では、消防職団員の火災防ぎょ技術及び連携活動の向上を図る目的で、毎年11月に秋の火災予防運動に伴う特別消防訓練を行っています。

秋の火災予防運動に伴う特別消防訓練

令和4年11月13日

於：八風スポーツ公園

火 災

令和4年中は13件の火災が発生し、これら全火災での損害額は20,486千円でした。

火災件数は前年に比べて1件減少し、建物火災については昨年の5件から4件、車両火災は昨年の3件から1件に減少しましたが、林野火災では、昨年の0件から2件に増えています。

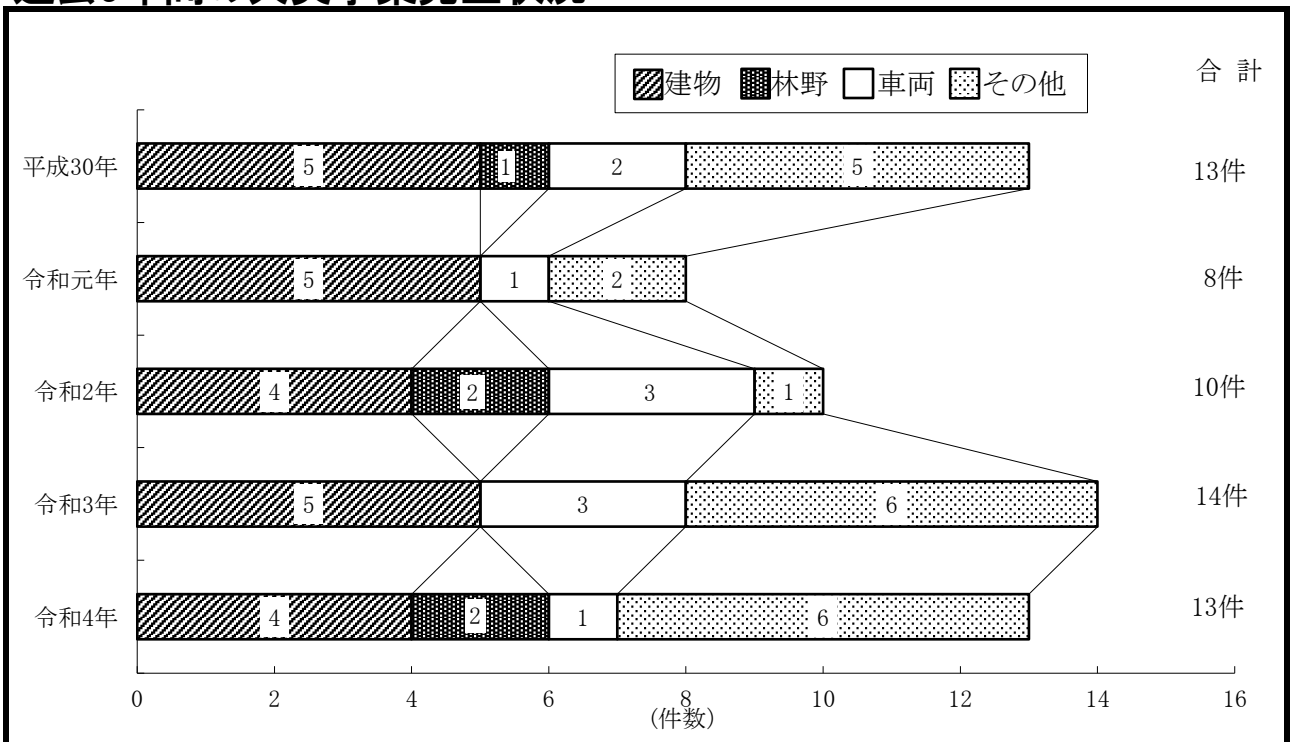
火災事案発生状況

区 分		年 別				
		平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
全 国	火 災 件 数	37,981	37,683	34,691	35,222	
	出 火 率	3	3	2.7	2.8	
	1件当り損害額(千円)	2,228	2,410	2,990	2,958	
三重県	火 災 件 数	738	660	615	621	
	出 火 率	4	3.6	3.5	3.4	
	1件当り損害額(千円)	1,954	1,793	2,387	2,214	
菰野町	火 災 件 数	13	8	10	14	13
	出 火 率	3.1	1.9	2.4	3.4	3.2
	1件当り損害額(千円)	156	1,889	3,531	566	1,576

※出火率＝人口1万人あたりの出火件数

菰野町人口 40,182人(令和4年12月31日現在)

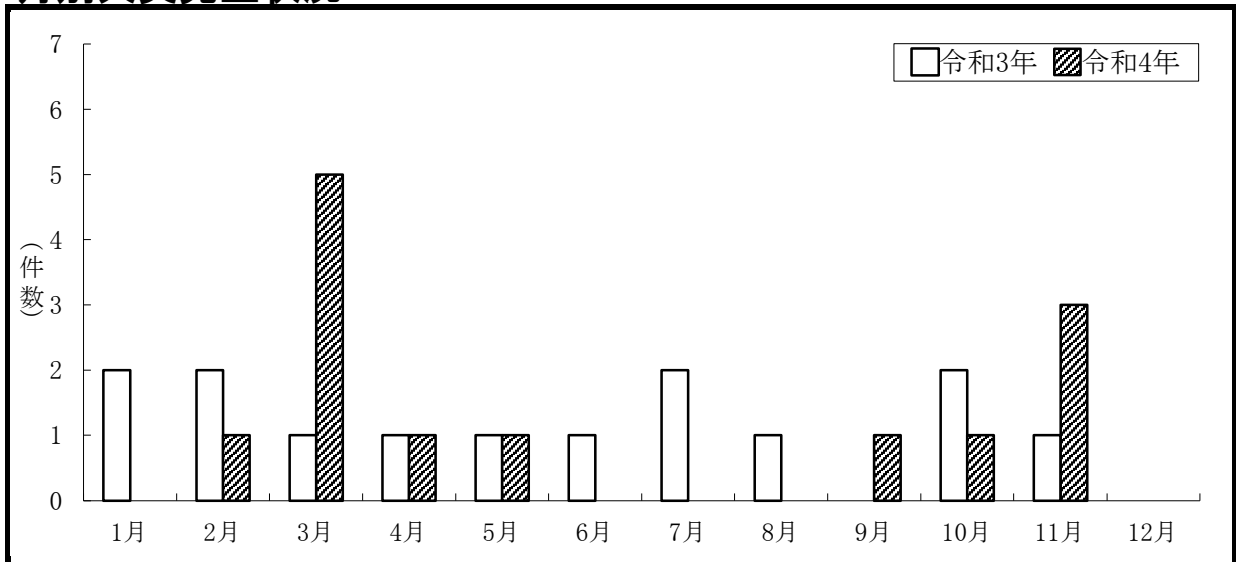
過去5年間の火災事案発生状況



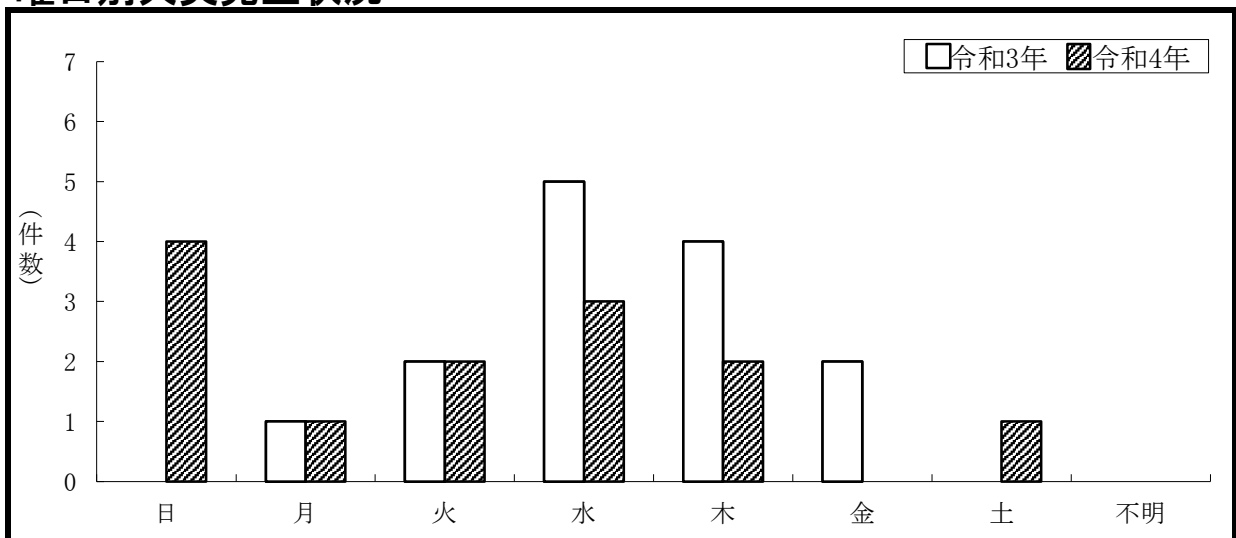
地区別火災発生状況

区分 地区	火災 件数	火災種別				建物 焼損面積 (㎡)	林野 焼損面積 (a)	焼損棟数					り 災世帯数	損害額 (千円)	死傷者	
		建物 火災	林野 火災	車両 火災	その他 火災			全 焼	半 焼	部分 焼	ぼ や	合 計			死 者	負 傷者
菰野	3			1	2						1	1		228		1
鶴川原	1	1				140		1				1		19,956		
竹永	3	1	1		1		5				1	1		297		
朝上	2	1	1				2				1	1		1		
千種	4	1			3						1	1		4		
合計	13	4	2	1	6	140	7	1			4	5		20,486		1

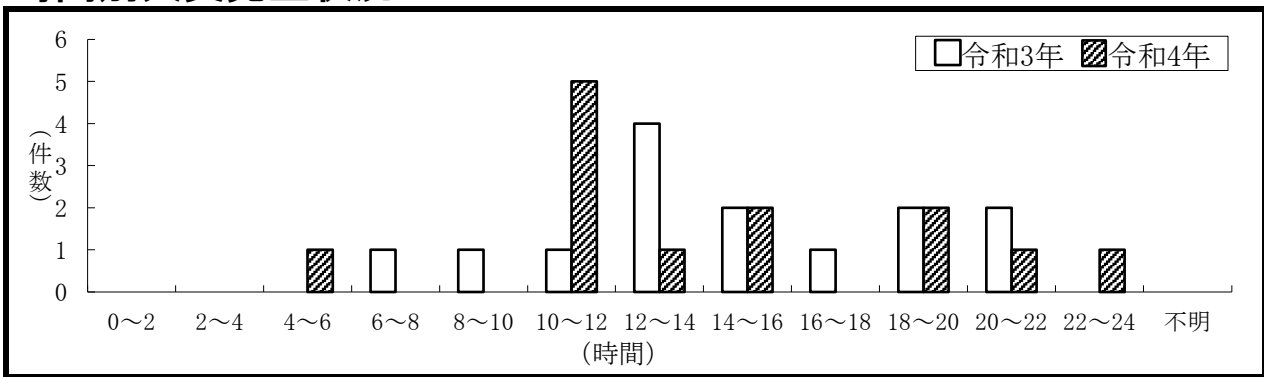
月別火災発生状況



曜日別火災発生状況



時間別火災発生状況



火災出動状況

区分	種別	火 災					非 火 災				管外
		建 物	林 野	車 両	その他	計	警 戒	誤 報 誤 認 虚 報	その他	計	
署単独出動		1				1	27		3	30	
第1出動		3	2	1	4	10					
第2出動											
第3出動					1	1					
事後聞知					1	1					
合 計		4	2	1	6	13	27		3	30	

火災出動区分詳細

火災種別	出動区分	消防本部・消防署出動車両	消防団出動車両
建物 航空機 危険物施設	第1出動	タンク車 ポンプ車 指揮車 3車両	地元分団 近隣分団 本部分団 4~5車両
	第2出動	タンク車 ポンプ車 指揮車 3車両	全分団11車両
林野	第1出動	タンク車 ポンプ車 水槽車 指揮車 4車両	地元分団 近隣分団 本部分団 4~5車両
	第2出動	タンク車 ポンプ車 水槽車 指揮車 4車両	全分団11車両
車両 特殊車両 危険物車両	第1出動	タンク車 ポンプ車 水槽車 指揮車 4車両	地元分団 本部分団 2~3車両
	第2出動	タンク車 ポンプ車 水槽車 指揮車 4車両	地元分団 近隣分団 本部分団 4~5車両
	第3出動	タンク車 ポンプ車 水槽車 指揮車 4車両	全分団11車両
枯草 その他	第1出動	タンク車 ポンプ車 指揮車 3車両	地元分団 本部分団 2~3車両
	第2出動	タンク車 ポンプ車 指揮車 3車両	地元分団 近隣分団 本部分団 4~5車両
	第3出動	タンク車 ポンプ車 指揮車 3車両	全分団11車両
中高層	第1出動	タンク車 ポンプ車 はしご車 指揮車 4車両	地元分団 近隣分団 本部分団 4~5車両
	第2出動	タンク車 ポンプ車 はしご車 指揮車 4車両	全分団11車両
トンネル (高速道路)	第1出動	タンク車 ポンプ車 水槽車 救助工作車 指揮車 5車両	
	第2出動	タンク車 ポンプ車 水槽車 救助工作車 指揮車 5車両	
事後聞知		タンク車 指揮車 1~2車両	

※高速道路内の火災は原則として消防団は出動しない。

火災発生状況及び出火原因状況

番号	火災種別	出火日時	出火地区 (区)	※覚知別	天候	風向	風速 (m/s)	気温 (℃)	
1	林野	2月9日(水) 14時45分	朝上 (田光)	報知電話	晴	北東	4	9	
2	その他	3月8日(火) 10時30分	竹永 (永井)	報知電話	晴	北北東	4	10	
3	林野	3月13日(日) 10時50分	竹永 (永井)	報知電話	曇	東	2	17	
4	その他	3月17日(木) 15時30分	千種 (千草)	報知電話	曇	北	4	16	
5	その他	3月20日(日) 4時11分	菰野 (湯の山)	報知電話	晴	北西	6	6	
6	建物	3月28日(月) 20時20分	竹永 (竹成)	加入電話	晴	北西	5	9	
7	建物	4月23日(土) 13時00分	朝上 (田光)	報知電話	晴	北西	4	24	

※ 報知電話 = 119番 (携帯電話等含む)

加入電話 = 一般加入電話

事後聞知 = 鎮火後に覚知したもの

	湿度 (%)	出 火 原 因 等			火 災 概 要
		発 火 源	経 過	着 火 物	
	41	枯草焼き	火の粉が散る遠くへ飛び火する	枯草（生えたまま枯れたもの）	枯草を焼却中、風に煽られ周囲の立木、枯草に延焼拡大したもの。
	36	枯草焼き	火の粉が散る遠くへ飛び火する	枯草（生えたまま枯れたもの）	枯草を焼却中、風に煽られ周囲の枯草に延焼拡大したもの。
	58	枯草焼き	火の粉が散る遠くへ飛び火する	枯草（生えたまま枯れたもの）	枯草を焼却中、風に煽られ周囲の立木、枯草に延焼拡大したもの。
	44	不明	不明	枯草	空地に繁茂している枯草が、何らかの原因により焼損したもの。
	65	不明	不明	不明	旧ホテルの廃屋から、何らかの原因により出火し焼損したもの。
	50	煙道	過熱する	その他	胡麻焙煎装置の熱気排気用の配管と、胡麻の表皮及び配管の一部が高温状態となり出火し、焼損したもの。
	50	照明器具	過熱する	その他	照明器具が白熱灯の熱により長年蓄積された埃から出火し、焼損したもの。

火災発生状況及び出火原因状況

番号	火災種別	出火日時	出火地区 (区)	※覚知別	天候	風向	風速 (m/s)	気温 (℃)	
8	その他	5月8日(日) 18時20分	千種 (潤田)	事後聞知	晴	北西	5	16	
9	建物	9月1日(木) 23時00分	千種 (岡)	加入電話	雨	北北東	1	24	
10	その他	10月19日(水) 11時30分	千種 (江野)	報知電話	晴	北	3	21	
11	車両	11月2日(水) 18時00分	菰野 (宿野)	報知電話	晴	北	4	18	
12	その他	11月6日(日) 11時40分	菰野 (菰野第二区)	報知電話	晴	北西	6	17	
13	建物	11月8日(火) 11時50分	鵜川原 (川北)	報知電話	晴	北	5	18	

※ 報知電話 = 119番 (携帯電話等含む)

加入電話 = 一般加入電話

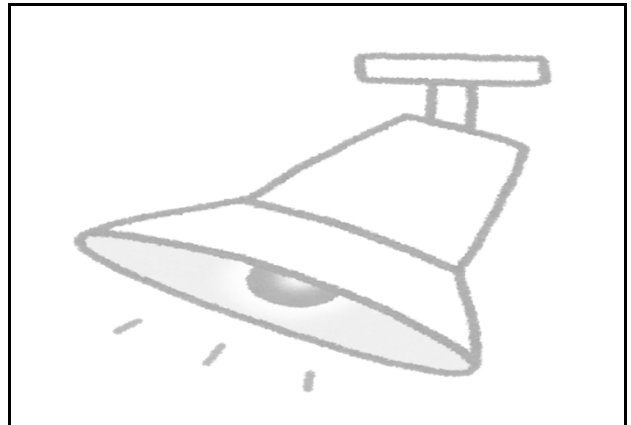
事後聞知 = 鎮火後に覚知したもの

	湿度	出 火 原 因 等			火 災 概 要
	(%)	発 火 源	経 過	着 火 物	
	37	バーナー	火源が動いて接触する	落葉	ガスバーナーで草を焼却中、植栽の下の枯れた落葉に着火し、植栽を焼損したものの。
	98	プラグ	スパークによる引火	その他	工業扇のコンセントと延長コードのプラグの間に溜った埃と湿度によりスパークし、焼損したものの。
	32	枯草焼き	火の粉が散る遠くへ飛び火する	枯草（生えたまま枯れたもの）	枯草を焼却中、風に煽られ周囲の枯草に延焼拡大したものの。
	69	たばこ	火源が転倒落下する	ごみ屑	座席シートの上に置いてあったごみ屑にたばこを落としたことにより、着火し、焼損したものの。
	38	枯草焼き	火の粉が散る遠くへ飛び火する	枯草（生えたまま枯れたもの）	枯草を焼却中、風に煽られ周囲の枯草に延焼拡大したものの。
	50	不明	不明	不明	何らかの原因により工場内から出火し、建物と収容物を焼損したものの。

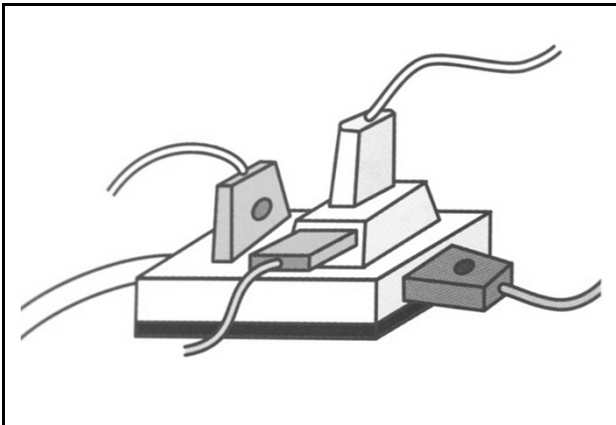
絵で見る火災原因（13件）



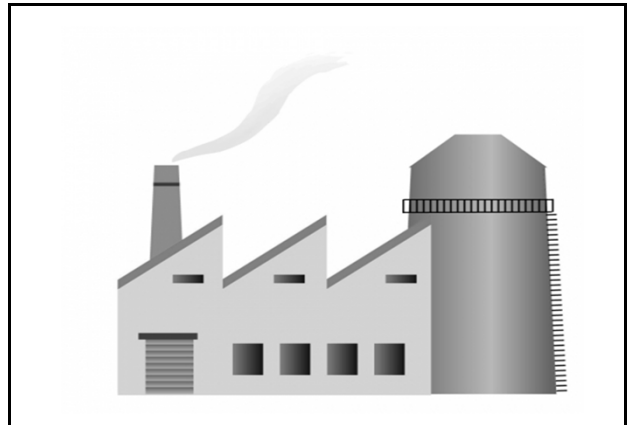
枯草焼き等 6件



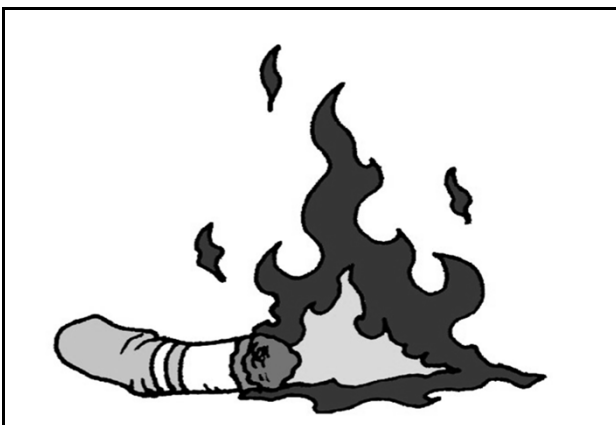
照明器具 1件



電気器具 1件



煙道・配管 1件



たばこ 1件



その他・不明 3件